

個人質問

学校司書とは

学校図書館で、本の貸出し、整理、選書や児童・生徒の読書活動の推進、学習支援などを専門的に行う職員のこと。

その他の質問等

- 山本・志紀図書館での児童・生徒の自習スペース確保
- ディスレクシアなど読書に困難を抱える児童・生徒への対応

Q 予約制によるおくやみコーナー・ワンストップ化は、市民の利便性向上だけでなく、対応する職員にとっても合理的・効率的であり、行政DXの観点からも早急に実現すべきと考えるがどうか。


A 悲しみを抱えた遺族の方の負担を軽減することは非常に大切であると考えており、課題や他市事例などの研究を進める。

Q 学校司書の全校配置及び学校図書館サポーターの処遇改善と働きやすい環境整備を早急に実施すべきだがどうか。

A 学校司書のモデル配置事業の効果検証を実施し、市長部局と連携しながら全校配置に向けた取り組みを進める。また、学校図書館の充実を図るためには学校図書館サポーターの協力が不可欠であり、処遇や条件などの改善等に努める。

公明党
前園 正昭
おくやみコーナー
設置の早期実現を！



個人質問

個人質問とは、議員が市政全般について、市民の代表として行う質問のことをいいます。八尾市議会では、答弁を含まずひとり30分の持ち時間となっています。



給食牛乳のあり方は、子どもたちの成長や食育の観点だけでなく廃棄による食品ロスなどの課題も考慮しなければならない。

その他の質問等

- 給食に使用する塩の選定
- 不正投票の防止

Q 学校給食の牛乳について、アレルギー等の診断書がなくても選択できる自治体が増えている中、牛乳を一律に提供しなくてもよいと考えるがどうか。

A 牛乳は成長期に必要な栄養素を効率的に摂取できる最も適した食品であると認識しているが、今後、新たな知見に基づく情報収集や検討を進め、よりよい給食を実施していく。

Q 学校給食の牛乳は、年間でおよそ1167万円分が廃棄されていると算出されるが、市の見解は。

A 牛乳に限らず食材を残すことは大きな食品ロスの課題であると認識しており、学校給食の意図や効果をしつかりと子どもたちに伝えながら、食育や残食をなくす取り組みを進めたい。

八尾保守の会
川上 舞
学校給食の牛乳提供
選択制に向け検討を




都市計画道路の整備後は、駅周辺にさらなるにぎわいが生まれることが期待される。

その他の質問等

- 公立認定こども園及び民間園における性教育の取り組み
- 選挙用ポスター掲示板の設置及び投票入場整理券の発送

Q JR久宝寺駅周辺の開発から約20年経過し、この間、子育て世帯を中心に人口が増加した一方で生活利便性やにぎわいがそれに追いついていないという声も聞くと、現状をどう評価しているのか。

A 全体として調和のとれた都市環境の形成が図られていると考えるが、計画当初と比べ、まちの状況も変化していることから、今後のにぎわいのあるまちづくりに向けたさらなる検討を進めていく。

Q 子どもたちの学びを支える学校図書館の運営において、学校司書の必要性についてどう考えているのか。

A 専門職として学校司書が配置されることにより、学校図書館機能のさらなる安定化につながると認識している。

大阪維新の会
景山 和香
JR久宝寺駅前に
さらなるにぎわいを




公益財団法人とは

不特定多数の者の利益（公益）の増進に資することを主目的とする財団法人のこと。23の公益目的事業分野（地域社会の発展等）のいずれかに該当する事業を行うことが求められる。

その他の質問等

- 証明書のコンビニ交付を利用しない方へのアンケート実施
- 高齢者へのコンビニ交付に関する周知や利用促進策

Q 窓口業務は市民が最も身近に接する行政サービスであり、その質と効率性は市政への信頼にも直結する。成果を数値で示し、検証を重ねて改善を続ける行政運営をすべきだがどうか。

A 改善の成果を見える形で示すことは重要であると認識しており、庁内連携や窓口DXなども含め、混雑緩和と市民サービス向上の取り組みを進めていく。

Q 公益財団法人八尾体育振興会が、財務の持続可能性に疑義が生じる状況にある公益法人としての継続性を確保するためには、事実と数値に基づき、ゼロベースでの整理を含めた抜本的な改革をすべきだがどうか。

A 非常に厳しい状況であることは認識しており、重大な事象が起こる前に団体と協議し、継続可能な体制づくりを進めていく。

大阪維新の会
木村 健二
窓口混雑を緩和
利便性向上へ




保育ニーズが高まる中、保育人材の確保が課題となっている。

その他の質問等

- 医療事故への認識及び自治体が果たすべき責任
- いじめ事案における教育委員会の責任と役割

Q 少子化でも保育ニーズは多様化・高度化しており、保育士の確保・定着に向けた数値目標を設定すべきだがどうか。

A 質の高い保育を提供できるよう数値目標を設定しており、計画値の達成に向けた取り組みを着実に進めていく。

Q 医療事故調査制度は原因究明と再発防止が目的であり、制度概要や相談窓口を市民に分かりやすく周知すべきだがどうか。

A 医療安全情報の周知は重要であり、広報媒体を活用し市民目線での情報提供に努め、相談先につながる仕組みを検討する。

Q 学校外で発生したいじめ事案には学校・教育委員会・福祉事業者・保護者等が連携した対応体制を構築すべきだがどうか。

A 関係機関との連携強化に努め、実効性のある体制を構築する。

八尾の未来を紡ぐ会
柴谷 匡哉
保育士の確保定着に
数値目標の設定を




1月臨時会の概要

令和8年1月市議会臨時会では、1月27日の本会議において国の交付金を活用した物価高騰対応策にかかる補正予算案を上程し、早期の給付等を実現するため、討論の後、採決を行い補正予算案を可決しました。



QRコードから、本会議の映像を見ることができます。

国の交付金を活用した物価高騰対応策にかかる補正予算審議

総額 10億1,754万6千円 (一般会計第11号補正予算)

主な内容

- 八尾市物価高騰対応市民応援給付金 (令和7年12月定例会において議決された給付金の増額)
- 意欲ある事業者経営・技術支援補助金制度の拡大
- 物価高騰の影響を受ける福祉施設への支援金給付

常任委員会の所管事務調査

課題解決のための施策を市に提言！



QRコードから、報告書の全文を見ることができます。

文教常任委員会

【テーマ】 小・中学校の適正規模等について

【報告内容 (抜粋)】

平成22年7月の答申から15年以上経過していることから、新たに児童・生徒数の推移、将来推計、学級編成の実態及び学校施設の老朽化状況等を可視化し、小・中学校の適正規模等に関する考え方を再整理されたい。なお、再整理に当たっては、関係部局と密に連携を図り進められたい。

健康福祉環境常任委員会

【テーマ】 介護保険の適正化について

【報告内容 (抜粋)】

要介護状態への移行を緩やかにし、将来の認定率の低下を図るためには、若年層へのアプローチ強化が求められる。若年層が参加しやすいプログラムの創設や地域ごとの身近な通いの場の設置など、参加率向上に向けた取り組みを充実されたい。

総務常任委員会

【テーマ】 働き方改革について

【報告内容 (抜粋)】

財源の裏付けや実施計画との整合を十分に踏まえた上で、無理のない目標設定の下、段階的に施策を展開すべきである。限られた経営資源を有効に配分し、業務改革と人材定着を両輪として推進することにより、持続可能で安定的な行財政運営体制を構築することを求める。

建設産業常任委員会

【テーマ】 産業政策に関する課題と現状及びアウトカム指標に基づいた評価手法について

【報告内容 (抜粋)】

産業政策の進捗と効果を把握し、政策改善と人的・財政的資源の効率的活用を図るため、施策の進捗を示す指標 (KPI) と最終成果であるアウトカムを示す指標 (KGI) を連動させた評価体系を構築するよう求める。



生涯学習の役割を果たせるよう、部局間の連携を行いながら施策を進めることが求められる。

その他の質問等

- 学校における防犯体制強化
- ゼロカーボンシティの実現に向けた大阪広域水道企業団との連携

Q 現在、市の文化施策は市長部局、生涯学習施策は教育委員会が所管している。学校教育を取り巻く課題が深刻化する中で、教育委員会との役割を学校教育に特化し、生涯学習施策と文化施策を一体的に市長部局で所管することが、教育の質及び行政所管の最適化の観点から双方を高める現実的な選択肢と考えるが、市の見解は。

A 文化施策と生涯学習施策の所管部局の一元化は、両施策の協働等による相乗効果が期待でき、行政運営上の選択肢の一つと認識している。一方で、学校教育から生涯学習までを連続したものと捉え、総合的に施策を推進することも有効であると認識しており、行政所管のあり方については施策効果や組織運営上の課題等を踏まえ、総合的な観点から検討していくべきと考える。



生涯学習と学校教育 行政所管の最適化を

八尾保守の会 露原 行隆



市や関係機関が連携しながら子どもや保護者の状況や考え方を共有し、最適な環境の提供につなげていく必要がある。

その他の質問等

- 婚活支援
- 結婚新生活支援事業
- 投票しやすい環境整備

Q 障がいのある未就学児童の保育において、保育と療育の選択肢がある中で、最適な環境を選ぶことができる体制が必要と考えるが、市の見解は。

A 保育と療育の様々な可能性を考慮し、保護者の意向を踏まえつつ、子どもにとって最適で安心安全な環境の選択につながるよう関係機関と連携しながら相談支援を行っていく。

Q 教育環境や学校の状況を事前に知っていただくための見学会など、障がい児の就学に不安を抱える保護者に寄り添った対応はできているのか。

A 保護者が安心して就学を迎えられるよう、不安や疑問を丁寧に聞き取り、教育環境についての説明や支援学級及び通常学級の授業を含めた学校見学を提案している。



障がい児の保育・療育を最良の環境に

公明党 五百井 真一



道路交通法を遵守し安全な交通環境となるよう、今後も講習等の実施が求められる。

その他の質問等

- 八尾空港北瀬特定保水池を公園化すべき
- 点字ブロックの防滑対策と音響式信号機の24時間対応

Q 令和8年度の国民健康保険料賦課限度額が106万円から112万円へと大幅な値上げとなる。多くの世帯で保険料の上昇が予想される中、物価高で苦しむ市民に対する値上げの撤回を求める。府や市の国保会計の基金を使えば、保険料の値下げができるかと考えるが、市の見解は。

A 大阪府国民健康保険運営方針の定めにより、保険料の引下げを目的とした基金の活用は困難である。

Q 道路交通法改正により、令和8年4月から自転車運転の違反に対しても反則金が科される。何が違反に当たるのか等の不安な声が多いが、どう考えるのか。

A 法改正に伴う市民の不安を軽減し、安全意識の向上のため、引き続き講習の実施や周知・啓発等に取り組んでいく。



物価高で苦しい家計 国保料値上げ撤回を

日本共産党 越智 妙子

